

健康と病院経営に関する意識調査及び 病院経営に対する一考察

久米 詩織

【要旨】

近年の日本では、少子高齢化に伴う医療費の増加が深刻な問題となり、病院の約7割が赤字経営を続けている。病院数や病床数も減少しており、持続可能な医療提供体制を確保が課題となっている。本論文では、「医療消費者は病院が赤字で経営されていることをどう考えているのか、そもそも認識しているのか」をリサーチクエスチョンとしてアンケート調査を行った。調査結果では、57%は病院が赤字で経営されていることを知らないことが明らかになった。また、約8割が病院は赤字で経営されるよりも黒字で経営されることを望んでおり、その理由として「医療の継続性」「医療従事者の待遇」「医療の質や設備投資」が多く挙げられた。また、病院の非営利性を誤って認識している回答や病院経営に対して受動的な回答も得られた。行政・病院は情報入手を容易にするための施策や病院経営に関する問題提起を行っていく必要があることが明らかになった。